



安全・安心・感動の農業

〈硝酸態窒素低減資材〉

Pro Terra 液状複合肥料

GP21 液体微量要素複合肥料



確実な「高収量生産・高秀品生産・長期貯蔵性生産」を実現します。

液状複合肥料 プロテラ 土壌改良資材

手間をかけず確実な土づくり

●微生物の増殖とPH調整の技術

植物ミネラル・酵素・腐植物質を配合し、微生物を増殖させPH調整の回復、土壌の団粒化、頑健な根張りを実現します。

●植物の免疫力・抗菌力の向上

免疫力を活性化し、太い根・太い茎・厚い大きな葉・丈夫な表皮などを形成し、病害虫に対するの抵抗力が大幅に高まり減農薬栽培を可能にします。

●硝酸化成抑制効果

硝酸化を抑制して初期から後期まで肥効が長効します。(マルチ栽培に最適)

●硝酸態窒素の大幅低減！安全

有用微生物の増殖と過剰な肥料・堆肥を適切に与えることで硝酸態窒素が低減され高品質・多収生産を実現します。

散布面積が **ちがう**
(高濃度設計)

希釈倍率 **400倍**

1本(1ℓ)で使用液400ℓ(400倍希釈)

1本の散布面積 **4反歩(40a)**

10a 当り 100ℓを目安にして下さい。

天然成分配合。

濃度・混合による障害はおきません。

散布して10日後を目安に

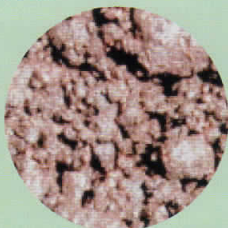
土の色、におい、やわらかさを比較して下さい。



プロテラ & GP21 による

団粒構造と微生物の実証撮影

使用区



団粒構造(フカフカの土壌)

イオンバランスの均衡
(電解質機能が活発)

↓
酸性土壌の中和

↓
病気発生を抑制

↓
発芽・活着が良好



微生物エネルギー
微生物が多い健康な土壌

未使用区



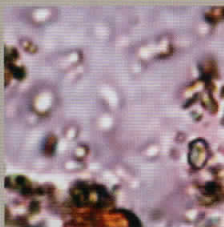
硬い土壌

イオンバランスが崩れる
(化学肥料・有機肥料の過剰)

↓
酸性土壌

↓
病気の発生

↓
発芽・活着の低減



化学エネルギー
微生物が少なく不健康な土壌

※顕微鏡撮影 22年4月15日

作物の生育・収量は根で決まる!!

節間が詰まり、丈夫で均等な苗が出来ます。



根量と成長の比較写真(イチゴ)
ランナー上の子株をポットに
(5日間)植え試験

根量の比率

■ 使用
■ 未使用



自然の植物、海藻エキスから抽出した天然成分!!

液体微量要素複合肥料 GP21

葉と根に活力を

1回の散布で効果がわかる!!

成分が **ちから**

●海藻ミネラルと多種類の酵素

根を強く成長させ、葉の厚み茎の太さを増し植物の免疫力を強め、成長を早く促進します。

●効く! アミノ酸(17種類)

光合成(クロロフィル)を高め植物の細胞を活性化し、成長などの速効性に優れている。

●微量元素を配合

銅・亜鉛・マンガン の欠乏補給に効果があり、病害虫への抵抗力をつけ植物の新陳代謝を促進します。

●植物種油(3種類)を含有

植物保護と硝酸態チッソ低減に最適。(忌避効果)

散布面積が **ちから**

(高濃度設計)

希釈倍率 **800~1000倍**

1本(1ℓ)で使用液1000ℓ(1000倍希釈)

1本の散布面積 **1ヘクタール**

10a 当り 100ℓを目安にして下さい。

天然成分配合。

濃度・混合による障害はおきません。



注意



①強風・降雨時の散布は避けてください。(散布後8時間間は雨に注意してください)気孔の開く朝方に散布してください。



②高温時の散布は避けてください。気孔の多い葉裏を重点に、茎など植物全体を霧状に散布します。



③約8時間後に透明な呼吸皮膜を作り(植物保護)約3週間は雨や風でも取れません。その後自然に分解されます。

微生物と健康な土の働き

光合成作用を助けます

硝酸態チッソの低減。

GP21散布
クロロフィルの増強
光合成の向上

栽培履歴も安心

茎葉に過剰にたまる硝酸態窒素は、作物にも食べる人にも有害で、日本でも硝酸態窒素の低減は難しい中、光合成を高め働き低減を実現しています。安全で「エグミが無い・きれいな日持ち抜群」の一流野菜作りの効果が得られます。

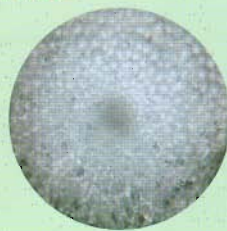
硝酸態窒素の低減

耐病性の向上
減農薬栽培

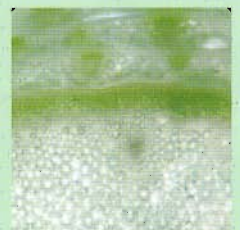
高収量生産
高秀品生産
長期貯蔵性生産

タマネギの断面

使用区



・実がしまっている。
・催涙物質に変化しにくい。
・長期貯蔵に最適。
・表面につやがある
・甘くすっきりと重い。



未使用区



・実がしまっていない。
・機能性に乏しい。



■残留農薬(306項目)分析検査／不検出

■植害試験検査(発芽調査・生育調査)／異常なし

【厚生労働省登録検査機関調べ】

■LD50(吸引)検査／人体・動物無害!

“効果を発揮するため”使用方法に従って正しくお使いください。

プロテラの散布風景



(ハクサイ宮崎県)



液状複合肥料 ProTerra プロテラ

| 作物名 | 使用方法 <土壌散布・灌注・灌水> |
|------------------|--|
| 葉菜・果菜・根菜 花類・芝 | (路地)播種定植前に1回散布する。 (ハウス)1~2ヶ月の間隔で定期的に散布する。 |
| 水稲 | 稲ワラの上に散布しすぐにすき込む。(田植え前) |
| お茶 | 春肥・芽だし肥・夏肥・秋肥などに散布する。 |

プロテラ使用のポイント

- ※種まき、苗の植付けに先立ち1~2週間前にプロテラを散布し耕耘・畝立てして下さい。
- ※土壌改良を目的の場合、少し多めに投入し調整して下さい。
- ※理想は雨前後の使用をお勧めします。(路地)

液体微量要素複合肥料 GP21

| 作物名 | 使用方法 <葉面散布> |
|---------------------|---|
| 葉菜・果菜・根菜・花類・芝 | 本葉が出てから2~3週間の間隔で定期的に散布する。 |
| 水稲 | 田植えの2~3日前／苗に1回散布。 分けつ期／1回 出穂前／1回 開花期／1回必ず散布する。 |
| 果樹・柑橘類 | 果樹：落花後(展葉期)葉が2~3cm伸びたら散布。 柑橘類：開花期に散布。 以降は幼果期~肥大期に散布し、猛暑・長雨・ 生育の悪いときは、定期的に散布する。 収穫後：樹勢回復に1回散布。 |
| お茶 | 春肥・芽だし肥・夏肥・秋肥などに散布する。 |
| 種苗・球根・挿し木 切花の前処理 | 1000倍希釈液に30分を目安に浸す。 【発根率の違いがはっきり出ます。】 【切花の水揚げ効果抜群。】 |

GP21の効果を挙げる上手な使い方

- ※苗作りの段階で徹底して散布する。 ※定植・移植前後に散布する。
- ※着花前後の散布。 ※作物が小さいとき。 ※生育中に調子の悪いとき。
- ※冷害・異常気象の時に使用。 ※成り疲れ予防など。

！ 注意

- ※作り置きはしないでください。 ※農薬との混合は避けてください(効果が薄れます)
- ※目に入った場合は、水でよく洗い流してください。
- ※直射日光を避け常温又は冷暗室でお子様の手の届かない所に保管してください。

プロテラは肥料登録されています。
安心してご使用ください。

登録番号 輪第9554号
肥料の種類 液状複合肥料
肥料の名称 プロテラ
保証成分量(%)
窒素全量6.0%
(内アンモニア性窒素1.0%)
水溶性リン酸2.0%
水溶性マンガン0.03%
原料の種類 (窒素全量を保証又は含有する原料)尿素
材料の種類、名称及び使用量
(使用されている効果発現促進剤)
EDTA鉄(鉄として)0.1%
EDTA亜鉛(亜鉛として)0.07%

※輸入業者保証書より抜粋

GP21は肥料登録されています。
安心してご使用ください。

登録番号 輪第9974号
肥料の種類 液体微量要素複合肥料
肥料の名称 GP21
保証成分量(%)
水溶性マンガン0.5%
水溶性ほう素0.2%
材料の種類、名称及び使用量
(使用されている効果発現促進剤)
硫酸銅(銅として)0.5%
EDTA銅(銅として)0.2%
硫酸亜鉛(亜鉛として)2.1%
EDTA亜鉛(亜鉛として)0.1%
着色剤 海藻抽出物・果物抽出物

※輸入業者保証書より抜粋

焼酎芋畑(コガネセンガン)／定植1ヶ月後の比較
※モンバ病の改善に最適 ※早期出荷
※ハダが綺麗・貯蔵性抜群 ※節間が詰まる



使用区



未使用区

発売元

株式会社スローライフ・ジャパン

【お問い合わせ先】

〒111-0034

東京都台東区雷門2丁目3-2-1202

TEL03-5818-6261 FAX03-5828-5182